

6・25 アジア労働者交流集会 in 神戸

韓国から 労働運動活動家を迎えて

(アジア労働者交流集会の関係では、入管による入国拒否や入国時の嫌がらせが続いており、お名前等については、当日お知らせすることになります。)

日時／ 2025年6月25日（水）午後2時～

場所／ 神戸学生青年センター ウエスト100

仮チラシ

神戸市灘区八幡町 4-9-22

阪急六甲駅の南側、神戸方面へ線路沿いを 100 メートルほど。

会費／ 1000円

◆ 激動の韓国

12月 3日夜、尹錫悦（ウン・ソンニヨル）大統領、戒厳令を宣布

12月 4日未明、国会、戒厳解除要求決議（戒厳令は無効に）

12月14日、国会、大統領弾劾決議を可決（大統領の職務停止）

1月15日、警察、大統領を逮捕

4月 4日、憲法裁判所、大統領の罷免を決定（大統領失職）

6月 3日、大統領選挙

昨年12月3日の戒厳令以降、韓国の政治情勢への関心が高まっています。

しかし、日本の報道は、韓国の労働者・労働組合・市民が、どのように闘ったのか、という点にはほとんど触れられず、大統領はどうなるのか、誰が大統領になるのか、今後の日韓関係はどうなるのか、といった話が中心です。

6月25日の交流集会では、韓国の労働運動活動家の方に、韓国の労働者・労働組合は、どのような闘いを行ってきたのか、また現在行っているのか、お話を伺う予定にしています。

【アジア労働者交流集会 in 神戸】

コロナ禍以前は、年2回、開催していました。コロナ禍では海外から来日することができず中止していました。今回が再開の第1回目になります。

（チラシ作成／2025年5月下旬・自立労連神戸支部）

主催 アジア労働者交流集会 in 神戸 実行委員会

- 神戸学生青年センター
- 兵庫社会労働運動センター
- 自立労連神戸支部 (alui@pastel.ocn.ne.jp)

【韓国・民主労総のメーテー】

「万国の労働者よ、団結せよ、そして万国の民衆よ、抵抗せよ」 2025 世界メーテー

2025 年国際労働者デー 民主労総組合員 10 万人が「叫ぶ」

内乱の清算、労働基本権の獲得、社会大改革の実現

「国境を越えた労働者の階級闘争は、止められない」



「国際労働者の日」が明け、世界中の労働者階級の確固たる団結と連帯を確認し、労働者解放のための闘争を止めないという決意を固めました。

が主管した。首都圏大会には 3 万人余り、全国で 10 万人余りの労働者・市民が大会に参加した。

2025 年の世界メーテーをむかえた民主労総組合員の心は格別だ。労働者民衆の闘争で尹錫悦を罷免させた後、初めてのメーテーであり、2 年前「尹錫悦を必ず退陣させてくれ」として焼身したヤン・フェドン烈士に負った心の借金を少しは下ろして向き合った初めての 5 月 1 日であるためだ。2 日は建設労働者ヤン・フェドン烈士 2 周忌追慕祭が開かれる。ヤン・フェドン烈士の死直後、民主労総は尹錫悦退陣を決議した。

この日、民主労総組合員らはこの冬、広場闘争で内乱の首魁である尹錫悦を引きずり下ろしたという誇りを胸に刻む一方、依然として終わっていない内乱を清算し、平等な社会を作るという闘志を固めた。青年、障害者、移住労働者、女性、性的少数者そして退陣広場を通じて同志になった連帯市民(=応援棒同志)が直接舞台に上がって開会宣言したことがその意志の反映だ。(中略)

民主労総のヤン・ギヨンス委員長は大会辞で「尹錫悦弾劾広場は民主労総が道を開き、市民が共に出た闘争は、いかなる難関も突破できるという確信を持たせた時間だった」としつつも「しかし尹錫悦はまだ街を闊歩している。だから『万国の労働者、団結せよ』というスローガンを越え、『万国の民衆よ、抵抗せよ』、というスローガンで再び闘争に出なければならない時だ。極右ファシストに二度とこの社会を譲らないようにしよう。広場へ、街へ出よう」と訴えた。(以下略)